

# ふくしまの卵。 その「あんしん」を、 私たちは守りたい。

## 消費者のみなさまへ

いつも福島県産の卵をお買い上げいただきありがとうございます。この度、生産者である私たちからみなさまへお知らせがあります。甚大な被害を及ぼした東日本大震災と、それに伴う原発事故。福島県の養鶏に携わる私たちも、1人ひとりが被災者です。しかし、そうした被災環境の中でも、鶏卵の生産者として最大限の努力を続けています。県内の業界全体・関係者全員が一丸となって、以下の取り組みを徹底しています。すべては、福島県産の鶏卵をいつでも美味しく召し上がっていただくために。どうか今後も、変わらぬご愛顧を、よろしくお願いいたします。

### 徹底した飼育環境管理

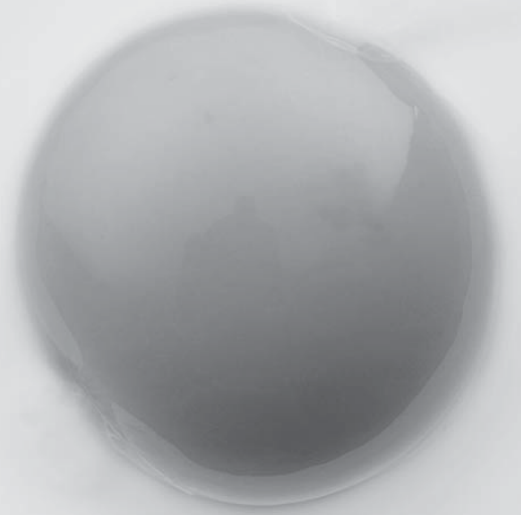
屋内畜舎内での飼育を徹底しています。鶏たちを外気から遠ざけることにより、放射能の影響を受けにくくしています。

### 徹底した飼料の管理

鶏たちのエサは、タンク内から供給される配合飼料と井戸水。こちらも外気に触れないようにして、放射能の汚染を防いでいます。

### モニタリング検査の実施

県によって毎月モニタリング検査が実施されています。直近の検査においても、福島県内のすべての生産地で、放射能は検出されませんでした。（下のマップを参照）また、今後についてさらに徹底した自主検査システムの構築を推進しています。

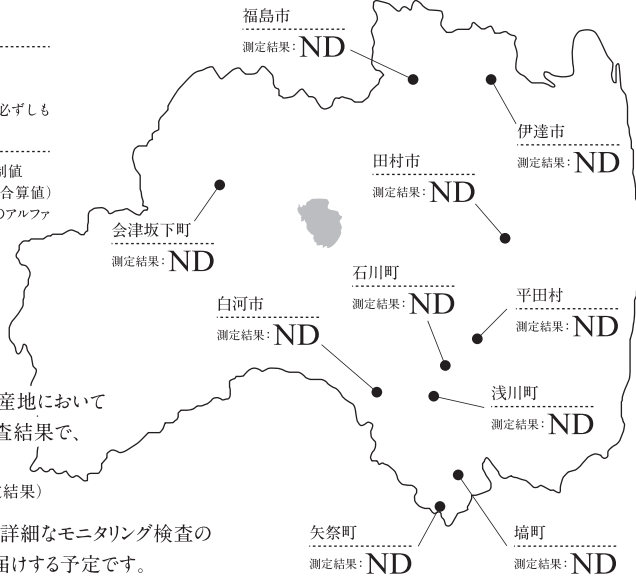


## 福島県 鶏卵あんしんMAP

ND Not Detected/不検出

検査機器の検出限界値を下回ったという意味で、必ずしも数値が0とは限りません。

※食品衛生法における肉・卵・魚・その他の暫定規制値  
セシウム:500Bq/kg(セシウム-134、セシウム-137の合算値)  
ウラン:100Bq/kg・プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種:10Bq/kg・放射性ヨウ素:指標なし



※このデータは福島県が県内の主な生産地において定期的にサンプリングし行っている検査結果で、8月19日に公表されたものです。（セシウム-134、セシウム-137、ヨウ素-131の測定結果）

今回は、自主検査システムによるさらに詳細なモニタリング検査の結果を、10月中旬までにみなさまにお届けする予定です。